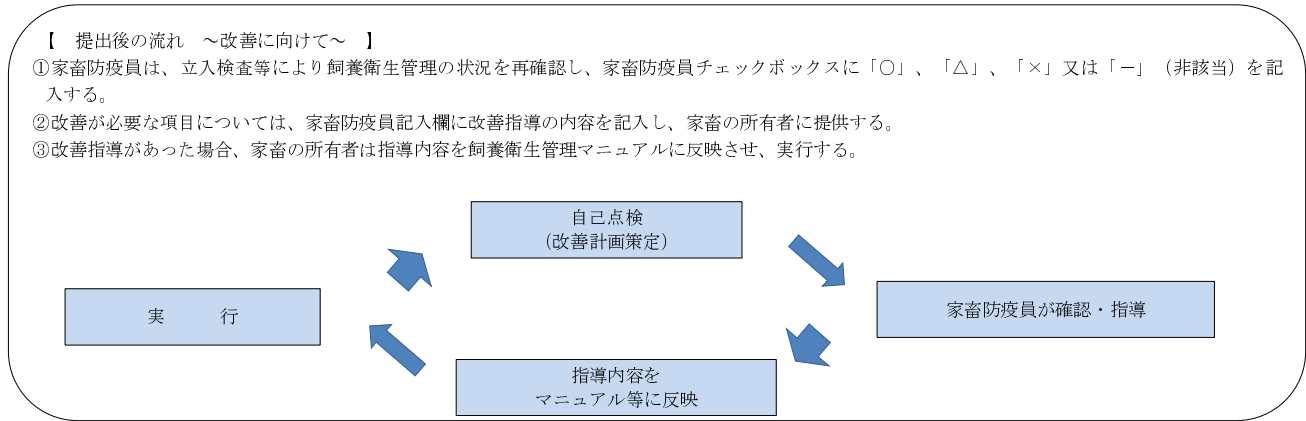


2. 飼養衛生管理基準の遵守状況及び遵守するための措置の実施状況
(1) 牛、水牛、鹿、めん羊及び山羊の場合

※記載方法
・自らの農場に関する飼養衛生管理基準の遵守状況及び遵守するための措置の実施状況について、自己点検を行うこと。
・1 から33までの各項目の設問に対し、自己点検の結果を元に「できている」、「一部できている」、「できていない」又は「該当しない」にチェックを付けること。
・「記入欄」がある設問には、措置の状況を記載又は該当する事項にチェックを付けること。
・「一部できている」「できていない」と回答した項目については、記入欄に一部できている項目のうち、できていない部分の具体的な内容/今後の改善方針を記載すること。

【 評価基準の目安 】

できている：項目の内容が遵守できている場合
一部できている：できている項目とできていない項目が両方ある場合
できていない：項目の内容が不遵守の場合



●飼養衛生管理基準の構成について
飼養衛生管理基準は全33項目あり、各項目を取組の目的ごとに以下のⅠ～Ⅳに体系化しながら、分類している。

- Ⅰ 家畜防疫に関する基本的事項【項目1～14】
 - Ⅱ 衛生管理区域への病原体の侵入防止【項目15～21】
 - Ⅲ 衛生管理区域内における病原体による汚染拡大防止【項目22～28】
 - Ⅳ 衛生管理区域外への病原体の拡散防止【項目29～33】
- 【参考】農場の各施設において関係する項目とその項目が防除の対象とする感染源（一覧表）

感染源		対策の実施場所（衛生管理区域内）				
分類	種類（代表例）	境界		敷地	関連施設	畜舎
		入域時	出域時			
人	従業員、外部者	15、16、17、18	29			22、23
	車両、重機	19	30			24
	器具、機材	20	31、32	28	24	24
	飼料、敷料	21、26				26
野生動物	ねずみ、たぬき			28	25、26、27	25、26、27
	野鳥				25、26	25、26
	はえ、ダニ				25、27	25、27
飼養環境	土壌、粉塵			28	28	28
家畜	死体、排せつ物		14、32		25	25
	牛、水牛、鹿、めん羊、山羊	14	14、32、33			14、32、33

農場名： #REF!

回答記入例
☒ できている ☐ 一部できている ☐ できていない

牛 2

※「できている」、「一部できている」、「できていない」又は「該当しない」から1つ選択

家畜防疫員
チェック
ボックス

I 家畜防疫に関する基本的事項

1 家畜の所有者の責務

①関係法令を遵守している。

（関係法令の例）
・家畜伝染病予防法 ・飼料の安全性の確保及び品質の改善に関する法律 ・獣医師法
・家畜排せつ物の管理の適正化及び利用の促進に関する法律 ・水質汚濁防止法 ・悪臭防止法
・廃棄物の処理及び清掃に関する法律 ・牛海綿状脳症対策特別措置法
・医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律 ・化製場等に関する法律

☐ できている

☐ 一部
できている

☐ できていない

②農場の所在地域で飼養されている家畜の所有者その他の関係者と協力して衛生管理の意識を高め、衛生管理を行っている。

（協力者の例）
・地域の他の家畜の所有者（飼養衛生管理者） ・都道府県 ・市町村 ・関係団体 ・地域自衛防疫団体

☐ できている

☐ 一部
できている

☐ できていない

③（所有者以外に飼養衛生管理者がある場合）飼養衛生管理者と常時連絡可能な体制を確保し、本基準に規定される取組について当該飼養衛生管理者に実施させている。

☐ 該当しない

☐ できている

☐ 一部
できている

☐ できていない

【記入欄】 ※「一部できている」「できていない」を選択した場合、できていない部分の具体的な内容/今後の改善方針を記入してください。

2 家畜防疫に関する最新情報の把握及び衛生管理の実践

①家畜保健衛生所等から提供される情報を必ず確認するとともに、家畜保健衛生所等が開催する家畜衛生に関する講習会への参加、農林水産省のウェブサイトの閲覧等を通じて、家畜防疫に関する情報を積極的に把握している。

（情報の把握方法例）
・メール ・広報誌 ・FAX ・ウェブサイト

☐ できている

☐ 一部
できている

☐ できていない

②家畜防疫に関する最新情報を踏まえ、防疫体制を含めて、自らの農場の飼養衛生管理の状況を定期的に点検し改善を図っている。

☐ できている

☐ 一部
できている

☐ できていない

③家畜保健衛生所が行う検査を受け、指導に従っている。

☐ できている

☐ 一部
できている

☐ できていない

【記入欄】 ※「一部できている」「できていない」を選択した場合、できていない部分の具体的な内容/今後の改善方針を記入してください。

3 飼養衛生管理マニュアルの作成及び従事者等への周知徹底

①必要事項を規定した飼養衛生管理マニュアルを獣医師等の専門家の意見を反映させて、作成している。

※飼養衛生管理マニュアルの必要事項
（１）従事者が当該農場以外で行う動物の飼養及び狩猟における禁止事項
（２）海外渡航時及び帰国後の注意事項
（３）海外からの肉製品の持込み（郵便物による持込みを含む。）に関する注意喚起
（４）衛生管理区域及びその出入口並びに消毒設備等の衛生対策設備の設置箇所を明示した農場の最新の防疫体制を確認できる平面図
（５）農場内への不適切な物品の持込みの禁止
（６）可能な限り、工具、機材等を農場内へ持ち込まないための取組
（７）持ち込む工具、機材、食品等の取扱い
（８）野生動物の衛生管理区域内への侵入防止
（９）手指、衣服、靴、物品、車両、施設等の洗浄及び消毒並びに農場における防疫のための更衣に関する具体的な方法、消毒薬の種類、作用時間及び乾燥時間等
※飼養衛生管理マニュアルの写しを添付

☐ できている

☐ 一部
できている

☐ できていない

②従事者及び外部事業者が飼養衛生管理マニュアルを遵守するよう、当該マニュアルを印字した冊子の配布、看板の設置その他の必要な措置を講じている。

☐ できている

☐ 一部
できている

☐ できていない

③家畜の伝染性疾病の発生の予防及びまん延の防止に関する情報を従事者及び外部事業者へ周知徹底している。

☐ できている

☐ 一部
できている

☐ できていない

【記入欄】 ※「一部できている」「できていない」を選択した場合、できていない部分の具体的な内容/今後の改善方針を記入してください。

4 記録の作成及び保管

以下に掲げる事項に関する記録を作成し、少なくとも1年間保存している。

①衛生管理区域に立ち入った者（※1）の氏名及び住所又は所属、衛生管理区域への立入りの年月日、その目的（※2）及び消毒の実施の有無（車両を入れる者にとっては、当該車両の消毒の有無を含む。） ※不特定かつ多数の者が立ち入ることが想定される施設（観光牧場等）において、衛生管理区域の出入口における手指及び靴の消毒等、病原体の持込み及び持出しを防止するための規則をあらかじめ作成し、家畜防疫員が適切なものであることを確認した場合は記録は不要である。 ※1 当該農場の従事者を除く。 ※2 所属等からその目的が明らかな場合を除く。	<input type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> 一部 できている	<input type="checkbox"/> できていない	
②消毒の実施の記録については、衛生管理区域の出入口等に台帳を設置し、確実に記録させている。				
③（衛生管理区域に立ち入った者が過去一週間以内に海外から入国、又は帰国した場合）過去一週間以内に滞在した全ての国又は地域の名称及び当該国又は地域における畜産関係施設等への立入りの有無	<input type="checkbox"/> 該当しない	<input type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> 一部 できている	<input type="checkbox"/> できていない
④（従事者が海外に渡航した場合）滞在期間及び国又は地域の名称	<input type="checkbox"/> 該当しない	<input type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> 一部 できている	<input type="checkbox"/> できていない
⑤・導入、出荷又は移動を行った畜種の種類、頭数、健康状態 ・導入元、出荷先、移動先の農場等の名称 ・導入、出荷、移動の年月日	<input type="checkbox"/> 該当しない	<input type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> 一部 できている	<input type="checkbox"/> できていない
⑥飼養する家畜の頭数、月齢、異状の有無、異状がある場合にあっては、その症状並びに獣医師による診療結果及び投薬その他の処置の状況		<input type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> 一部 できている	<input type="checkbox"/> できていない
⑦家畜保健衛生所、担当獣医師等からの農場指導の内容及び指導年月日		<input type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> 一部 できている	<input type="checkbox"/> できていない

【記入欄】 ※「一部できている」「できていない」を選択した場合、できていない部分の具体的な内容/今後の改善方針を記入してください。

5 大規模所有者が講ずる措置

①飼養する家畜が特定症状を呈していることを従業員が発見したとき、当該家畜の所有者及び飼養衛生管理者の許可を得ず、直ちに家畜保健衛生所に通報することを規定したものを作成し、これを全従業員に周知徹底している。 （周知方法の例） ・飼養衛生管理マニュアル ・貼紙 ※以下の資料を添付 従業員が農林水産大臣の定める特定症状を確認した場合に家畜保健衛生所へ直ちに通報することを規定したものの写し	<input type="checkbox"/> 該当しない	<input type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> 一部 できている	<input type="checkbox"/> できていない
②畜舎ごとに飼養衛生管理者を配置している。 [同一の者が複数の畜舎を担当する場合には、衛生管理を行う家畜（牛にあっては月齢が満四月以上のものに限る。）の頭数の合計が二百頭（第二十一条の五第八号イ（1）又は（2）に掲げる牛、鹿、めん羊及び山羊にあっては、三千頭を超えないこと。）。]	<input type="checkbox"/> 該当しない	<input type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> 一部 できている	<input type="checkbox"/> できていない

【記入欄】 ※「一部できている」「できていない」を選択した場合、できていない部分の具体的な内容/今後の改善方針を記入してください。

9 分割管理を導入する際の措置

口蹄疫等の発生時の影響の緩和を図るため、衛生管理区域及び人・車両・物等の動線の見直しにより、農場を分割して管理すること（「分割管理」）に取り組む場合は、家畜保健衛生所の確認を受け、指導に従っている。	<input type="checkbox"/> 該当しない	<input type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> 一部 できている	<input type="checkbox"/> できていない
---	--------------------------------	--------------------------------	--------------------------------------	---------------------------------

【記入欄】 ※「一部できている」「できていない」を選択した場合、できていない部分の具体的な内容/今後の改善方針を記入してください。

6 獣医師等の健康管理指導

●家畜保健衛生所と緊密に連絡を行っている担当の獣医師又は診療施設を定め、定期的に当該獣医師又は診療施設から飼養する家畜の健康管理について指導を受けている。 ※診療施設に家畜保健衛生所を含む	<input type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> 一部 できている	<input type="checkbox"/> できていない
---	--------------------------------	--------------------------------------	---------------------------------

【記入欄】 ※「できている」「一部できている」の場合は回答してください

担当の獣医師の氏名

担当の診療施設の名称

【記入欄】 ※「一部できている」「できていない」を選択した場合、できていない部分の具体的な内容/今後の改善方針を記入してください。

103

<p>●衛生管理区域の出口付近に消毒設備を設置し、車両を出す者に対し車両の消毒をさせている。 ※退出する者が消毒機器を携行し、当該機器を使用し消毒している場合を除く。</p>	<input type="checkbox"/> 該当しない	<input type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> 一部できている	<input type="checkbox"/> できていない
---	--------------------------------	--------------------------------	----------------------------------	---------------------------------

☐ 項目19と同じ ☐ ゲート式車両消毒装置 ☐ プール式車両消毒装置 ☐ 動力噴霧器 ☐ 蓄圧式噴霧器

☐ 消石灰帯（幅： m）

☐ その他：（ ）

<p>●他の畜産関係施設等で使用し、もしくは使用したおそれがある物品又は過去四月以内に海外で使用した衣服及び靴は、原則、衛生管理区域内に持ち込んでいない。やむを得ず持ち込む場合には、洗浄、消毒その他の必要な措置を講じている。</p> <p>※他の畜産関係施設等で使用し、又は使用したおそれがある物品をやむを得ず持ち込む場合に必要な措置については飼養衛生管理マニュアルに記載する。</p> <p>※過去四月以内に海外で使用した衣服及び靴をやむを得ず持ち込む場合に必要な措置については飼養衛生管理マニュアルに記載する。</p>	<p><input type="checkbox"/> できている</p>	<p><input type="checkbox"/> 一部できている</p>	<p><input type="checkbox"/> できていない</p>
---	---------------------------------------	---	--

[illegible]

<p>●畜舎の出入口付近に消毒設備を設置し、立ち入る者に対し、畜舎に出入りする際に手指の洗浄及び消毒をさせている。</p> <p>〈消毒設備の例〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設置されたスプレー ・衛生管理区域専用の手袋の着用 <p>〈「該当しない」場合の例〉</p> <p>畜舎と衛生管理区域が同じ場合</p>	<input type="checkbox"/> 該当しない	<input type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> 一部できている	<input type="checkbox"/> できていない
---	--------------------------------	--------------------------------	----------------------------------	---------------------------------

①畜舎ごとの専用の靴を設置し、畜舎に入る者に対し、これを着実に着用させている又は靴の消毒をさせている。 (着用又は消毒設備の例) 靴: 専用靴、ブーツカバー、(消毒の場合) 踏込消毒槽	<input type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> 一部できている	<input type="checkbox"/> できていない
②靴に排せつ物、汚泥等が付着した場合には、洗浄及び消毒を行っている。	<input type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> 一部できている	<input type="checkbox"/> できていない

[illegible]

①飼養管理に使用する器具は畜舎に持ち込む際に消毒するとともに、清掃又は消毒を定期的に行っている。		<input type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> 一部できている	<input type="checkbox"/> できていない
②注射針、人工授精用器具その他体液（生乳を除く。）が付着する物品を使用する際は、一頭ごとに交換又は消毒をしている。	<input type="checkbox"/> 該当しない	<input type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> 一部できている	<input type="checkbox"/> できていない

[illegible]

31 衛生管理区域から搬出する物品の消毒等

111

漏出防止方法（死体）

漏出防止方法（排せつ物）

【記入欄】 ※「一部できている」「できていない」を選択した場合、できていない部分の具体的な内容/今後の改善方針を記入してください。

※従業員がいる場合には、以下①～④について従業員も同様の対応がとれるよう、従業員に対する周知が行われている必要がある。

--

①39.0℃以上の発熱及び泡沫性流涎、跛行、起立不能、泌乳量的大幅な低下又は泌乳の停止があり、かつ、その口腔内、口唇、鼻腔内、鼻部、蹄部、乳房又は乳房（以下「口腔内等」という。）に水疱、びらん、潰瘍又は瘡痕（外傷に起因するものを除く。以下「水疱等」という。）があること（鹿にあっては、39.0℃以上の発熱があり、かつ、その口腔内等に水疱等があること）。

③同一の畜房内において、半数以上の哺乳畜（1つの畜房につき1頭の哺乳畜を飼養している場合にあつては、同一の畜舎内において、隣接する複数の畜房内の哺乳畜）が当日及びその前日の2日間において死亡すること。

ただし、家畜の飼養管理のための設備の故障、気温の急激な変化、火災、風、水害その他の非常災害等口蹄疫以外の事情によるものであることが明らかな場合は、この限りでない。

○年月日： _____

○確認者（家畜の所有者・飼養衛生管理者・家畜防疫員・民間獣医師・その他（ _____ ））

氏名： _____

○年月日： _____

○確認者（家畜の所有者・飼養衛生管理者・家畜防疫員・民間獣医師・その他（ _____ ））

氏名： _____